

すなお

令和3年12月号



立教185年 元旦祭



午前5時より



明治三十年二月一日

おやのことば

春風のようなそよよ風の間
は何も言う事は無い。神も勇
んで守護する。なれど今の事
情はどうであるか。黒ほこり、
泥ぼこり立ち切つてある。こ
の黒ほこり、泥ぼこりの中で、
どうして守護出来るか。又、
守護した処が、世界へどう見
えるか。

会長

おやのことば

今年も一年、それぞれの立場において精一杯つと
めて下さり本当にありがとうございました。また、
大教会の創立百三十周年祭に向かつては眞実なる御
供を頂戴し運ばせていただきました。重ねてお礼申
し上げます。

今年を振り返れば、昨年に引き続きコロナの影響
を大きく受け、これと言った御用も行事も出来ない
ままに年末を迎えるとしています。ある意味、飛
び立つ前にかがむ状態がずっと続いているように思
います。この期間のもどかしさは私自身の若い頃と
重なります。

私は学校を卒業後、宇和島市において至らぬ布教
生活を送っていました。もちろん努力は重ねていま
したが、これといった大きな成果が無い中、ただた
だ前を向いて歩くしかなかつた日々がありました。
二年半経つた平成三年十月におぢばへ歩いて帰ろう
と思い立ち実行しました。東予市に入った頃から膝
の古傷が痛み出し、それからは痛みとの闘いでした
が、これまたただひたすらに歩きました。七日間か
かつてようやくおぢばに帰りました。（次ページへ）

明くる令和4年の元旦祭ですが、現在のように少ない感染状況で推移している場合は、例年通りのようにおつとめをつとめさせていただきます。なお、今後の状況は分かりませんので増加に転じてくるようなら、事前に判断し個別に変更の連絡をさせていただきます。また、それぞれの体調に応じての出欠の判断をお願いします。



すなお (立教184年12月号)

通 巻 発行所	No.737 天理教瀬戸路分教会 794-0007 今治市近見町4-5-10  0898-23-5004  0898-23-5123
責任者	発 行 日 二 宮 英 治 2021.12.16



心にゆとりを

椿 信代

仕事からの帰り道、道を渡ろうと思って後ろを振り返ったところ自転車と危うく当たりそうになりました。うわ！と思った瞬間向こうからも「すみません！」と言葉が返ってきました。かなり暗かったですが髪をぴしっと束ねたおそらく小学校中学年くらいの女の子で、習い事帰りでしょうか、しっかりと謝罪の言葉が出てきたことにびっくりして、そしてすごいなあと思いました。

大人同士でこういうことが起きた時、たまに舌打ちをされたり心無い言葉を投げつけられたりすることがあります。自分がそちら側に行かないようにしないと、とは思いますがやはりムッとしてしまうことも多く、その女の子の姿を見て反省しました。些細なことにイラッとしてしまうときは心に余裕がなく自分のことしか考えられなくなっている時です。

これから年末年始に向けて世間がバタバタし始めます。「忙しいという漢字通りの姿にならないように」と、先日会長さんからも言われたばかりでした。

今年を締めくくる最後の時間を少しでも気持ちよく、喜びの心で通らせていただきます。

教会ニュース

年祭報告

11月18日、教会の祖靈殿において会長祭主のもと、江崎能啓さん佐伯君江さんの30年祭、江崎政江さんの20年祭をつとめさせていただきました。

元旦祭御供物

元旦祭の御供物を一台からでもさせていただいて下さい。事前に台数や品物の内容を教えていただくと助かります。よろしくお願いします。

神殿大掃除

今月30日の夕べとめ後、神殿・参拝場の大掃除をさせていただきますひのきしんよろしくお願ひいたします。例年の餅つきはありません。

あれから三十年の月が経ちましたが、今なおその時のことは忘れられません。一生懸命でも聞いても覚えな
いまま、ただ歩く布教と違い、足は痛くとも一歩ずつおぢばに近づくことを感じ、ただ歩けば良い。そう思えばともかく楽しかった。普通では感じられない感覚だと思います。これはそれまでの日々があればこそ味わえた心境だと思います。かがむ時期、辛抱の時期があればこそ、大にく飛び上ると信じて今年を終え、喜びに迎えたいと思います。



癖性分

野間龍二

本当に早くも2か月目を越えさせていただきました。変わらず、明るく、勇んだ毎日で、全く結構につとめさせていただいております。ただ、やはり、癖性分とは、中々祓いきれないものですね。

ホームルームの時間に、クラスメイトのみんなに、良かれと思ってですが、「みんなの気持ちが、緩んでいる気がする。せっかくの修養科なので引き締めて、修了させていただきましょう。」と、発言しました。みんなはきちんと受け止めてくれましたが、自分の中でなんだか、しつくりせず、翌日丸一日思案していました。

やはり私は、“こうまん”心が強いですね。会長さんには、見抜かれておりました。みんなの気持ちが緩んでいるのではなく、自分自身であると、浮かばせていただきました。

クラスメイト一人一人にお詫びと、感謝の念を伝え、しんどい事を取らせていただこうと心定めをさせていただき、最高の気分で3か月目を過ごさせていただいております。



かしもの・かりもの

田中道則

10月14日に元気な男の子が誕生しました。親バカですが、こんな可愛い子は見たことないです。(笑)

昨年は流産という節を見せて頂き、それから授かった子なので倍の感動でした。改めて人間の力の及ばない領域であり、妊娠中も無事生まれてくれるよう祈る日々でした。まさに「かしもの・かりもの」の世界であります。

夜は毎日、陽都(あきと)の近くでおつとめをしています。こっちを見て何となく楽しげな様子です。これからも元気で育ってくれるよう努めていきたいです。